

ぽらーの花巻

2019
7
No.257



特集 農業の明るい未来を目指して
はじめてみませんか
スマート農業





花が咲ききる前に行うカンパニュラの収穫作業。枝が折れないよう、ハサミを使って丁寧に切る



出荷まで2年～3年かけるクレマチスの栽培



収穫した翌日に行う出荷箱への箱詰め作業

Profile

平成28年8月に就農し、妻と2人で暮らす。花巻ブルーのクレマチスとカンパニュラ、鉢植リンドウのほか、ガーデンマムやダリアなどの花を25aで栽培。米3ha、野菜10aも栽培する。農福連携にも取り組み、7人が働く。JA鉢花生産部会やJA花巻地域花き生産部会の一員でもある。モットーは「継続は力なり」。



取材した日は、JA職員を含めて練習試合！華やかなシュートや珍プレーがあり、交流を深めながら共に汗を流しました。拓也さんも巧みな足技でチームに貢献！試合を盛り上げました。

【コーナータイトルの由来】

「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農追い人」と併せ、「農業に夢や希望を持って働く人」という意味を込めています。毎月、若手農業者や新規就農者を紹介します。

趣味・マイブーム
フットサル

就農後に、同級生と共に始めました。同級生やその子どもたちと月2回練習。チームの中で試合を行うなど、みんなでワイワイ楽しんでいます。



農追い人

GREEN SOLDIERS

ふち ざわ たく や
淵 澤 拓 也

花巻市

前職の経験活かした生産活動
花巻ブルー広めて産地貢献を

JA管内で生産する青色系統の花「花巻ブルー」。花巻市の偉人・宮沢賢治にちなんで命名したこの花々を、全国に発信しようとする若き生産者がいる。それが淵澤拓也さんだ。

拓也さんは東京農業大学を卒業後、営業や販売の知識を身に付けたいとIT業界に約10年間勤務。最後は花のインターネット通販に従事した。拓也さんは「この経験が今も活かしている。求められる花を作るという意識が芽生えた」と話す。その後、平成28年に帰郷。父の代から始めた花栽培を継いだ。

花巻ブルーを仕事柄知っていた拓也さん。産地として盛り上げていく事を知り、栽培を決めた。拓也さんは「宮沢賢治の世界観をシリーズ化しているのが魅力。冬を越す花のため、丈夫で花色が鮮やかに出るのもポイント」と魅力を話す。就農3年目、経験が足りない部分は両親

や先輩から学んで補うほか、巡回などの部会行事に参加。自分の状況と比べ、ベストと感じた事を実践している。試行錯誤を重ねる拓也さんが気を付けている事は、適期の作業。よく観察し、花が肥料や水を欲しがっているタイミングで作業する。

「消費者の反応を伺う機会があるとモチベーションが上がると」、PR活動も積極的に行う。市場の展示会に年2回参加するほか、地元の温泉施設で展示と販売を実施。最近では、全国放送のテレビ番組で紹介されるなど、成果が上がっている。

拓也さんは「花巻ブルーをまずは地元の方に知ってほしい。そして県内や全国に広まれば」と展望を話す一方で、「技術を磨きながら先輩方が築いた産地に貢献していきたい」と地元を愛する。栽培・営業・販売。全て経験してきた拓也さん特有の活躍に目が離せない。

ちょっといい話

JAいわて花巻オリジナル品種

日本初 八重咲きリンドウが今秋デビュー！

「花巻ブルー」に仲間入り！

平成27年にデビューしたJAいわて花巻オリジナル品種の鉢植リンドウ「花巻銀河ブルー」。生産者たちが手塩にかけて育てた美しい花々は、異例ともいえる数々の賞を受賞した。

それから4年。今秋に新たなJAオリジナル品種の鉢植リンドウがデビューする。その名は「青孔雀」と「桜孔雀」。リンドウの常識を覆す八重咲きだ。9月の出荷開始に向け、生産者たちは一丸となって丹精込めた栽培に取り組んでいる。すべては、消費者の笑顔のために。

淵澤拓也さんも今秋に向けて栽培。一つ一つ丁寧に育てています。



桜孔雀



青孔雀

ぼらーの花巻 CONTENTS

●No.257 / 令和元年(2019)7月号

02	農追い人	10	ぼらーのNEWS ● 地域の話
	GREEN SOLDIERS	12	あぐりネット
04	組合長就任のごあいさつ	14	Information ● 理事会だより / 監事会だより
06	特集	16	私が先生あなたも先生 ● 編集後記
	スマート農業		

常勤役員体制

6月28日から、常勤役員体制が下記の通り変更となりました。



代表理事副組合長
島津 秀三郎
(北上市口内町)



代表理事組合長
高橋 勉
(花巻市鍋倉)



会長理事
阿部 勝昭
(花巻市葛) ※非常勤



常務監事
三浦 正寿
(盛岡市向中野)



常務理事(営農・健康福祉担当)
佐藤 力夫
(花巻市太田)



常務理事(金融・共済担当)
長原 典夫
(花巻市東和町)



代表理事専務
伊藤 清孝
(花巻市桜町)

「組合員の力」と「結集力」による J A の発展に向けて



代表理事組合長
高橋 勉

この度、阿部勝昭代表理事組合長の岩手県五連副会長就任に伴い、代表理事組合長に選任をいただきました。誠にありがとうございます。その責務と先人諸氏の功績を思えば一抹の不安を覚え、日々葛藤しております。

J A いわて花巻には、4万余りの組合員と千名を超える役職員が丸となって対処しなければならない課題が山積しています。今日まで皆様に育てていただいたご恩に報いるため、協同組合運動のリーダーとしての役割を今こそ発揮しなければなりません。

そこで私は、3つの課題に最優先に取り組みます。

第一は、J A 自己改革です。農林水産省が最近行った担い手に対するアンケートによると、前回調査時よりも「改革への取り組みを評価していない」、という回答が増加しました。この結果を放置しては、協同組合運動の基礎である組合員が J A から離れてしまいます。そこで、課題を認識し農家組合や女性部・青年部などの協力組織や生産組織に十分な説明を行うとともに、取り組みを根本から見直して J A 自己改革を実践します。

第二は、先般の通常総代会で決議いただいた第4次中期経営計画・営農振興計画の着実な実践です。特に、支店や施設の再編・集約については、今後の施設運営や利活用について十分に協議を重ね、組合員の利便性を損なわないよう取り組み、J A の結集力の維持・向上に努めます。また、第4次営農振興計画では「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」を目標に掲げています。農畜産物販売額250億円を目指して積極的に「出向く活動」を展開し、生産組織と一体となった事業運営を進めます。

第三は、人づくりです。人づくりには、組合員と職員の2つの面があります。J A は、組合員が出資・利用・運営参画する組織です。事業運営をする上で、さまざまな要望がありますが、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営しなければなりません。また、農協運動の実践に先立って携わるのは職員です。時代の変化に的確に対応し、組合員から信頼される職員を育成します。

J A いわて花巻は、豊かな自然や恵まれた地理的条件、豊富な人材を有しています。この強みを活かすとともに、「組合員の力」と「結集力」を持って J A を発展させる所存ですので、組合員のますますのご協力をお願いし、就任のごあいさつと致します。

基本理念

愛・農・土 —いい土・いい水・いい心—

新鮮で安全な農畜産物を作るには、「いい土」と「きれいな水」が基本です。そして、農家の愛情が加わることで消費者にも「おいしさ」が伝わるものであり、「農と共生」の心がここに生きています。

J A いわて花巻は、イーハトーブの大地に根ざした、環境にやさしい農業をめざして「発進」します。



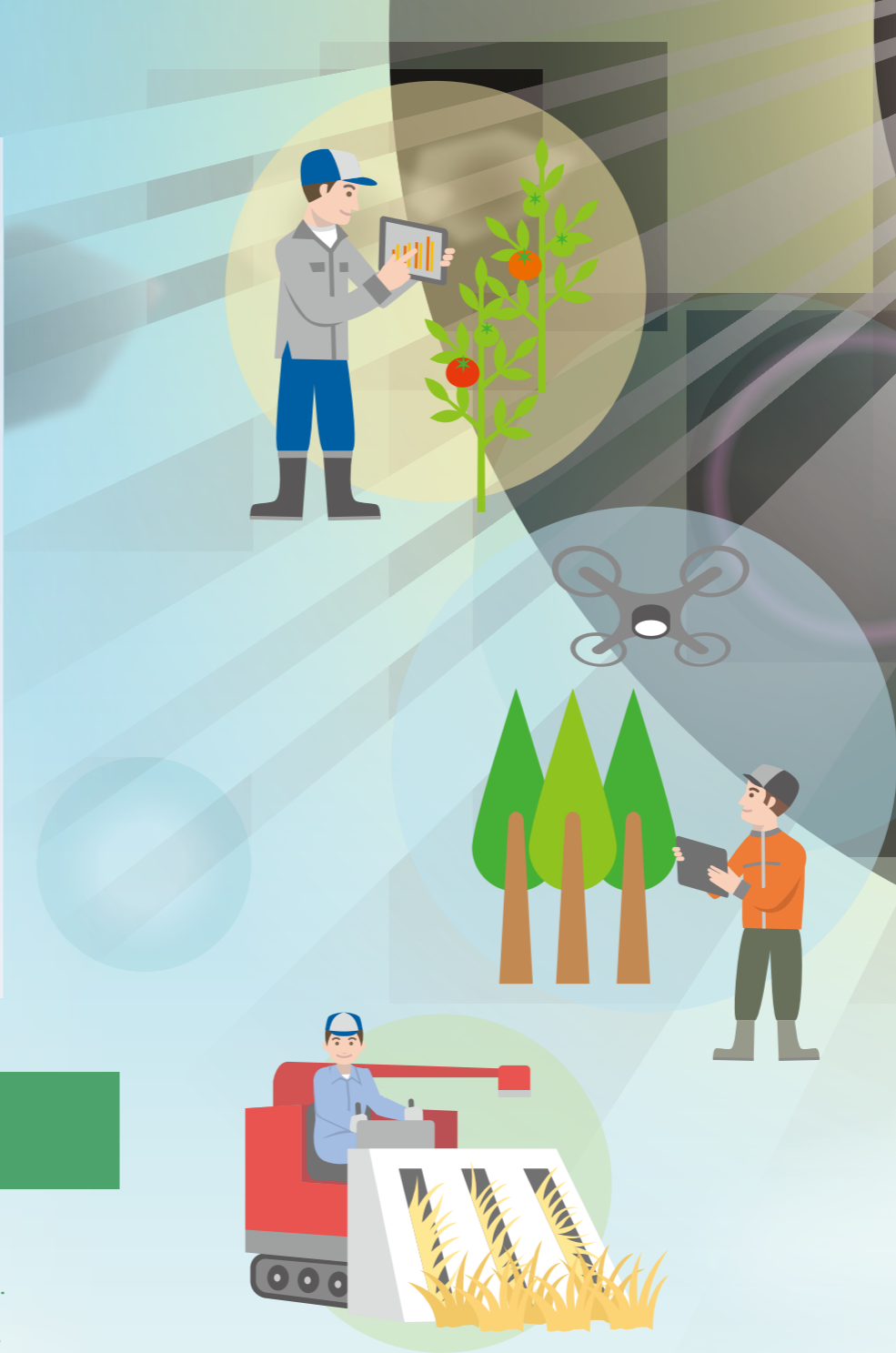
経営理念

- ①地域の彩りある食と農を守り、次代へつなぐ魅力ある農業を創造します。
- ②組合員の暮らしに豊かさを提供し、活力ある地域づくりに貢献します。
- ③環境変化に対し揺るぎない経営基盤を築き、充実した総合事業を展開します。
- ④職員相互の信頼と絆を深め、働きがいのある職場をつくります。



農業の明るい未来を目指して
はじめてみませんか

スマート農業



スマート農業が目指すもの

スマート農業を導入することで次のようなメリットが考えられ、新規就農者や高齢者も無理なく農作業ができるようになるのです。

1. 超省力化・大規模生産を実現

GPSの自動走行システムの導入により農業機械の複数走行による作業規模の拡大や農作業繁忙期の夜間走行、苗継ぎなどで中断することなく自動走行できるなど、作業能力の限界を打破します。

2. 作物の能力を最大限に発揮

センサー（感知器）を利用して温度などの測定や過去のデータ（栽培履歴や作物の生育状況）を活用した、きめ細かな栽培（精密農業）により、従来にない多収・高品質生産を実現します。

3. きつい作業、危険な作業からの開放

スーツのように身体に装着することができるアシストスーツにより、収穫物の積み下ろしなどの重労働を軽労化します。また、重い防除剤を背負った防草作業を防草剤ロボットなどにより自動化します。

4. 誰もが取り組みやすい農業を実現

農業機械の補助装置、栽培ノウハウのデータ化、作物の生育状況、病害虫などの対処法をリアルタイムに提供することで、経験の少ない就農者でも対処可能な環境を実現します。

5. 消費者・実需者に安心と信頼を提供

生産情報をインターネットに接続されたサーバー（コンピュータ）にデータを保管することで、いつでもどこでも、どんな端末からでも産地と消費者・実需者を繋げ、安心と信頼を高めます。

農業者の味方

期待が高まるスマート農業ですが、どのようなものがあるかご紹介します。



農業用ドローン

農業散布をはじめ、さまざまな用途で活用されています。カメラやGPSが付いているので範囲をコントロールして農薬を撒くことが可能。また、ドローンに搭載したカメラからのセンシングにより、「ほ場のバラつき」をマップ化。データから可変施肥設計を行い、可変の基肥・追肥を実施します。

無人トラクター

トラクターに乗車することなく、近距離監視下においてタブレットひとつで作業をコントロールできます。衛星（GNSS）と基地局からの補正情報の2つの電波で位置を求め、数センチ単位の高精度測位が可能。安全も確保されており、障害物の存在をセンサーで検知し、停止します。安全のため、障害物が取り除かれるまで勝手に再スタートすることはありません。



現在日本の農業は、農業従事者の高齢化や後継者不足、農業生産の低下など、さまざまな問題を抱えています。農林水産省によると平成30年度の農業就業人口は175・3万人であり、そのうち65歳以上が120万人。平均年齢は66・8歳と、平成22年の65・8歳から上昇しています。人口減少が予想されるなかで、新たに農業を始める若い新規就農者は少なく、耕作されない農地が増えていく一方となります。

こうした日本の農業が抱えるさまざまな問題を解決し、生産拡大などが大いに期待されるのが「スマート農業」です。スマート農業とは、「賢い」農業という意味があります。最新のロボット技術やICT（情報通信技術）、AI（人工知能）などの先端技術を活用して、省力化や食の安全性を高め、高品質生産を可能にする農業のことをいいます。

簡単にいえば、これまで人が経験や感覚、手作業や機械を動かして行ってきた農作業をロボットに作業してもらうということです。かつては農業従事者が十分にいたため、スマート農業に頼る必要はありませんでした。しかし、このような農業の現状と現代の技術の進歩により、スマート農業に注目が集まっています。

導入者の声



八重樫 善吉さん
 ■栽培品目
 米／7ha
 麦／5ha
 枝豆／2.4ha
 ■導入機器
 ドローン

今の時代、トラクターやコンバインなどもタッチパネル化が進んでいます。この先の農業を考えたとき、今取り組まなければ時代の波についていけないと思い、数年前から興味があったドローンの導入を決めました。

5日間のライセンス講習を受講し、資格を取得。最初は飛ばすのがやっとでしたが、練習を重ねることで、どれくらいの速度だと農薬を均等に散布できるかなど、把握することができました。

ドローンを導入するまでは、重い散布機を背負った作業でした。しかし、導入してからは重労働がなくなり、1haにかかる時間も3分の1に短縮することができ、とても楽になりました。野菜はドローンの風圧で倒れる心配があるためまだ使用していませんが、今後はテストをしながら導入したいと考えています。



高橋 好さん
 ■栽培品目
 米／10ha
 麦／20ha
 そば／5ha
 ■導入機器
 農業用自動操舵システム

今までは省力化のため、田植え機に除草剤をセッティングして同時に行っていました。しかし、除草剤は水面の上に散布するのが本来のやり方で、水を張ってから田植えをすると、線引きが見えず真っ直ぐ進むのが難しいと悩んでいました。

(株)JAグリーンサービス花巻で行っている展示会に足を運び、担当者から話を聞いたりパンフレットを見るなかで、農業用自動操舵システムがあれば、線が見えなくても真っ直ぐに苗を植えることができ、除草効果も発揮できるのではと思いついて導入を決めました。

調べていく中で、花巻市やJAで補助金がでていることを知り、補助金を利用し農業用自動操舵システムを購入しました。悩みだった除草効果が現われ、自動で真っ直ぐ進んでくれるため、導入して良かったと感じています。



自動運転田植え機



オペレーターが搭乗した状態で、基準線に沿って自動で直進進行します。回転時の一連の作業も自動化し、田植え作業と苗補給を1人で実現可能となります。人間とは違い疲れを知らないため、最高速度で植付作業を行っても高い作業精度を維持しながら能率向上が期待できます。

ロボット草刈機

自動で草を刈り、障害物があれば一旦停止して、方向を変えます。人が入れない場所や急傾斜のような危険な場所での防草作業も実施可能となります。



アシストスーツ



身体に装着することで動作を補助し、荷物の持ち上げや中腰での作業、歩行の際にかかる身体への負担を軽減します。力仕事が多い農作業の現場で、高齢の農業従事者だけでなく、女性や若手農家にとっても役立つ存在となります。

Z-GIS

JA全農の営農管理システム「Z-GIS」は、ほ場情報をインターネットの電子地図と関連付けることで、効率的な営農管理を実現するシステムです。



●特徴

- 1. Excel連携** ほ場の位置情報(緯度・経度データ)とExcelデータを紐付けて管理します。ほ場毎の作付計画や作業内容など、管理したい項目をExcelで簡単に追加・記録できます。
- 2. データの視覚化** 記録した情報は地図上にわかりやすく「見える化」できます。
- 3. 共有できる** データをクラウド上に保管することで複数名で共有できます。
- 4. 高解像度地図** 高解像度の航空写真を使用し、見やすい地図を提供しています。

●費用

100ほ場で2,400円/年間(税抜)

詳しくはHPをご覧ください



スマート農業の課題

このように期待が高まるスマート農業ですが、スマート農業を導入するにあたり課題もあります。1つ目は、サポート体制の構築です。情報通信技術についての知識や機器の操作方法を教えたりするサポート体制の構築が必要と言えます。2つ目はコストの問題です。機器の導入だけでなく、高度な機能を維持するためにもコストがかかります。こうした負担を少しでも軽減させるための対策も必要となります。

課題対策!

JAいわて花巻はスマート農業の導入を考えている方に対して次の助成を致します。

- 対象者
認定農業者／認定新規就農者／集落営農組織
- 助成対象機器
農業用自動操舵システム
- 助成内容
農作業用の衛星利用測位システム(GPS)基地局の利用を要するGPSガイダンスおよび農業用機械に装着する自動操舵システム一式または農業用機械に装着する自動操舵システム一式
- 助成措置
導入に要する経費の5%に相当する額で上限を20万円とします
※千円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てます
※助成金の交付は、1助成対象者につき1回、1機器限りとします

調理を通して食に興味を 「花巻まんまーず」今年度の活動スタート



メンバーの指導のもと包丁使いに挑戦する園児

J Aの食育リーダー「花巻まんまーず」は6月3日、花巻ささま幼稚園(花巻市北笹間)で今年度の活動を始めた。

メンバー3人が年長園児27人と一緒に、「おにぎり」や「野菜スープ」、「ハンバーグ」、「白玉だんご」の4品を作りました。園児は、メンバーの指導のもと、野菜を手でほぐすことや包丁で切ることに挑戦。おにぎりは、花巻産の雑穀を使ったご飯を「おいしくなれ」と言いながら心を込めて握るなど、楽しむ姿が見られました。園児は調理を通じて食の大切さや地元の食材について学びました。

佐藤ももちゃん(5)は「包丁を使ったことは初めてだったけれど、アスパラガスを切ることが一番楽しかった」と笑顔を見せました。今年度は2月まで計8回活動する予定です。

県産牛乳消費拡大へ 花巻駅前で牛乳をPR



駅利用者に元気に牛乳をPRする職員

J Aいわて花巻やJ A全農いわては5月31日、6月1日の「牛乳の日」と6月の「牛乳月間」に合わせ、J R花巻駅前で牛乳300本を配りました。

キャッチフレーズ「愛してミルク？」をテーマに、通勤や通学の駅利用者へ牛乳の効能などが書かれたパンフレットとともに、200mlの県産牛乳を「6月は牛乳月間です」と声をかけながら配布しました。畜産販売課の藤田重正課長補佐は「牛乳にはたくさんの栄養素が含まれている。牛乳の良さを知ってもらい、さらなる消費拡大に繋がりたい」と話しました。

同イベントは、水沢駅や一ノ関駅など、県内3カ所でも行われました。

フランスで金賞の新酒出発 「五月長根葡萄園」出発式



テープカットで出発を祝う関係者たち

(株)エーデルワインは5月31日、同社(花巻市大迫町)で「五月長根葡萄園2018白」の出発式を行いました。

社員や生産者、J A関係者など約50人が出席し、藤館昌弘社長は「農家のおかげで長年販売できている。全国や世界の皆さんにご愛飲してほしい」とあいさつ。関係者がテープカットをしたのち車両を見送りました。

同ワインは、同町内のエコファーマー認定農家が栽培した「リースリング・リオン」を原料に使用。女性にも人気の味わいで、4月にフランスで行われた「フェミニナリーズ世界ワインコンクール」では、平成29年産が金賞を受賞しました。



やりたいという声を実現 びじゅつぶす料理講習会



談笑しながら調理する参加者たち

女性部花巻地域支部びじゅつぶすは6月29日、J A農産加工室(花巻市野田)で子どもと一緒に楽しくできる料理講習会を開きました。

女性部湯本支部食母Sの吉田伯子さんと藤根悦子さんが講師を務め、びじゅつぶすのメンバーや地域住民、子どもなど31人が参加して「おにぎらず」と「アイススクリーム」を作りました。高橋美智子さんは「娘と料理したいが家では余裕がないため、このような料理講習会は助かる」と話しました。

びじゅつぶすは「美人アップ塾」を崩した造語で、「やりたい」という声を実現するグループです。12月にはヨガを行う予定です。

組合員とのふれあい大切に 各支店で「ふれあいプラン」がスタート



抽選会の組合長賞「噴霧器」を贈呈

J Aは6月、毎年行っている「ふれあいプラン」を始めました。

組合員や役員が集まり交流を深めることを目的に、各支店が農家組合や青年部、女性部と共に夏まつりやビアガーデンなどを開催。地元農畜産物の振る舞いや郷土芸能ショーなど、地域の特色を生かし工夫を凝らした内容で、11月まで行われる予定です。

6月22日には、全支店のトップを切り西和賀地域で開催。西和賀統括センター(西和賀町沢内)に約120人の組合員が集いました。農家組合や女性部が作った地元の山野菜を使った手料理やカラオケ大会、豪華賞品が当たる大抽選会で盛り上がりしました。



無理なく楽しく健康維持 「3B体操講習会」を開催



笑顔で体操を楽しむ参加者たち

岩崎支店と横川目支店は6月7日、女性部北上地域支部西南支部の共催事業として、「くらしの活動」の一環で健康維持を目的とした「3B体操講習会」を開きました。

J Aの生活福祉活動リーダーの高橋良子さんが講師を務め、女性部員やJ A職員14人が参加。3B体操の必須アイテムであるベルやベルダーなどを使い、ゆったりとした曲からアップテンポの曲など幅広い音楽に合わせて約1時間楽しく体を動かしました。

講師の高橋さんは「健康で安らかな心」「健康で美しく」「健康で美しく老いる」をスローガンとし、「毎年1つずつ年をとるのはみんな平等。こうして顔を見て交流し、体を動かすことが認知症予防にも繋がるので、自分の体力に合わせて頑張りましょう」と呼び掛けました。

営農振興

遠野市たばこ振興会松崎綾織総代区が受賞!

◆4項目で最高点を獲得

遠野市たばこ振興会松崎綾織総代区は、「第50回岩手県特産農作物生産振興共進会」で岩手県特産農作物生産振興協議会会長賞を受賞しました。

同共進会は、葉たばことホップを対象に、経営や技術が特に優れている優良農家や生産組織を表彰します。審査は平成30年度の実績を基に、構成員・1人当たりの耕作規模・単収・生産物の品質・共同活動の実施状況・共同設備等の利用状況の6項目で審査。同総代区は構成員・生産物の品質・共同活動の実施状況・共同施設等の利用状況の4項目で最高点を獲得しました。研修やグループ活動、女性部活動を実施している点や共同育苗と作業機の共同利用を実施している点などが評価されました。

◆遠野市長に受賞を報告

同総代区の菊池久人代表総代と遠野市たばこ振興会の菊池貞一会長、伊藤秀忠参与の3人は6月14日、遠野市役所とびあ庁舎を訪問し、本田敏秋市長に受賞を報告しました。本田市長は「葉たばこは遠野市にとって大事な産業の一つ。受賞を励みに、これからも頑張ってもらいたい」と話しました。菊池代表総代は「市の助成の効果が出てきたことと構成員皆さんの努力が受賞に繋がった。今後は単収を増やし、収入に繋がりたい」と意気込みました。



園芸

管内産原木乾シイタケ各部門で受賞

第52回全農乾椎茸品評会で、JA管内の生産者2名が受賞しました。

品評会は「伝統ある日本産原木乾シイタケと、日本の「うまみ」・「だし」文化を世界に広めよう」などの4項目をスローガンに掲げており、原木乾シイタケが日本の食文化に深く根ざしていることを世界に向けて発信しています。今回は、個人・団体の2部門と、6規格に25県から計630点が出品されました。

大槌町の兼澤平也さんは花どんこの部で、農林水産大臣賞を受賞。兼澤さんのシイタケは、特に形状や厚肉の点が評価され受賞へと繋がりました。兼澤さんは「JAの支援があったからこそここまで頑張ることができ、受賞に繋がった。今後も賞をいただけるよう、数量を増やしたい」と話しました。



花巻市石鳥谷町の小原和也さんはこうしん中薬厚肉の部で、林野庁長官賞を受賞。小原さんのシイタケは、特に形状や色沢の点が評価され受賞に繋がりました。小原さんは「震災後、全量廃棄し再出発した。震災前と比べ生産量は半分もないがやっと復活してきた。更に上の賞を目指し頑張りたい」と話しました。

各グリーンセンター定休日

7・8月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
※右記のほかに、8月31日(土)(大迫は30日(金))が第2四半期決算閉鎖のため休業します。

	定休日	営業時間	お盆期間中の臨時営業時間
花巻	7/27(土)/8/24(土)	平日…8:30~17:30/土・日・祝日…8:30~17:00	14(水)・15(木)…8:30~17:00/16(金)…8:30~15:00
石鳥谷	7/13(土)/8/10(土)	8:00~17:30	16(金)…8:00~15:00
大迫	土・日	8:30~17:00	
東和	7/20(土)/8/17(土)	8:30~18:00	14(水)・15(木)…8:30~17:00
北上	7/28(日)/8/25(日)	平日…8:30~18:00/土・日・祝日…8:30~17:00	16(金)…8:30~15:00
西和賀	7/15(月)/8/13(火)	平日…8:30~18:00/土・日・祝日…8:30~17:00	
遠野	7/10(水)/8/15(木)	8:30~18:00	14(水)・16(金)…8:30~15:00

●お問い合わせ先：営農部生産資材課 ☎0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

営農振興

鳥獣被害対策補助を活用して電気柵を設置しませんか?

近年、有害鳥獣の頭数が増え、農作物全般に甚大な鳥獣被害が出ています。そんな中、JAでは今年度から新たに鳥獣被害対策補助を始め、行政とJAが本格的に鳥獣被害対策に乗り出しています。農作物や農家自身の命を守るために、今からでも「よせつけない」電気柵の設置を推進します。

1. 交付対象

- 個人申請：農業者
- 団体申請：農地が隣接する3戸以上の組織（農業者1人以上を含むこと）

2. 行政補助率

地区	個人申請	団体申請
花巻市	2分の1以内 (上限7万円)	4分の3以内 (上限30万円)
北上市	2分の1以内 (上限4万5,000円)	
遠野市	2分の1以内 (上限4万5,000円)	5分の4以内 (上限40万円)

3. JA補助率

- 個人申請：経費の20%以内
(1事業あたり上限5万円)
- 団体申請：経費の20%以内
(1事業あたり上限15万円)
- ※他の事業などで補填がある場合は、その残額を上限とする



電気柵資材収支例

- ◎範 囲：300m
- ◎本体出力：ソーラー蓄電タイプ
- ◎入り口：3カ所
- ◎段 数：4段
- ◎申請形態：個人申請



(花巻市の場合)

資材費合計	190,000円
行政補助	70,000円 ※1
J A 補助	24,000円 ※2
実 費	96,000円

※1 190,000×1/2=95,000(上限7万円)
※2 (190,000-70,000)×1/5=24,000

●お問い合わせ 営農部営農振興課 ☎0198-23-0985

畜産

輝く! 女性の力



肥育部会女性部は6月5日、東京都の東京食肉市場(株)で「第5回花巻農協肥育部会女性部枝肉研究会」を開きました。

去勢、雌の黒毛和種合わせて24頭が出品。審査の結果、上物率は100%、最優秀賞には2年連続で北上市の高橋郁子さんの出品牛(去勢・生体重870kg・枝肉重量587kg)が選ばれました。厚みを感じたことや切断面の肉色・光沢ともに優れていた点が評価されました。高橋さんは「真面目に頑張ってきたことが成果に現れてうれしい。安心することなく、更に良い肉ができるようにもっと頑張りたい」と意気込みました。

- 【優秀賞】 橘久美子さん(北上市)
菊池ミネさん(花巻市)
- 【優良賞】 八重樫千賀子さん(花巻市)
清水久美子さん(花巻市)
小原あつ子さん(花巻市)

園芸

最盛期迎える! 西和賀露地イチゴ

西和賀地域の露地イチゴは地域特有の涼しい気候の影響を生かし、7月初めより最盛期を迎えます。

6月20日には、西和賀地域営農センター農産物集出荷場(西和賀町沢内)で目揃い会を開き、部会員や市場関係者など11人が参加。大粒での出荷が高値取引されることから、生産者は市場や指導関係者から色具合や大きさの規格、出荷の注意事項などの助言を受け、今後の栽培管理と良品出荷に向けて意識を統一しました。



- ◆令和元年度の栽培
栽培面積：約50a
販売目標：1,700万円
- ◆成育状況
今年度の成育は概ね順調です。ハウス栽培の四季なりイチゴは7月下旬から11月上旬まで出荷します。

地元産の野菜で試食つきクッキングステージを開催!

JA直売所の旬の食材を使って健康づくりのポイントをプラスした「健康レシピ」をご紹介します。

JAバンク × 健康キッチン

JA直売所キャラバン



日時 **7月27日(土)**
1回目 10:00~10:45
2回目 12:00~12:45

会場 JAいわて花巻本店 母ちゃんハウスだあすこ

家族そろって「ミニトマトすくい」「綿あめづくり」にチャレンジしよう!(参加無料)

お問合せ先 「健康キッチンJA直売所キャラバン」運営事務局 03-5790-0820 (平日10:00~18:00)
<https://www.kyounoryouri.jp/contents/caravan>

「JA直売所キャラバン」イベント会場にてJAカードのPRコーナーを設置します!!
JAカードの申込みまたは、申込み予約いただいた方先着40名様に景品進呈!
※数に限りがあります。ご了承ください。

秋の味覚 お届けします!

豊かな自然の恵みをたっぷりと浴びた、みずみずしいブドウ「イーハブドリ」の全国発送の受け付けを8月から開始します。大粒の果粒にコクのある甘味がいっぱい詰まった旬の味覚を、大切な方へお届けしませんか?

商品記号	商品名	容量	価格	発送時期
A	紅伊豆 (限定1,500ケース)	化粧箱 2kg標準	5,000円 (送料・消費税込)	9月上旬~
B	ロザリオピアンコ (限定1,000ケース)	化粧箱 2kg標準	5,000円 (送料・消費税込)	9月中旬~

◎受付期間: 令和元年8月1日~31日まで ◎送付方法: 日本郵便(クール便)

※天候や生育の状況により、発送時期がずれる場合があります。あらかじめご了承ください。
※お客様からお預かりした個人情報、JAにおいて厳重に管理し、ご注文の発送および今後の商品情報の提供などに使用します。

●お問い合わせ 営農部園芸販売課 ☎0198-22-6217

理事会だより

次の議案について審議され、全議案議決されました。

第4回理事会 開催日: 5月29日(水)

第1号議案

会長理事、組合長理事、常勤理事及び代表理事の選任について

第2号議案

特定理事の選任について

第3号議案

三連役員候補者の推薦について

第4号議案

総代選挙期日及び日程について

第5号議案

平成30年度決算監査「改善を要する事項」の回答について

第6号議案

令和元年度個別理事報酬の配分について

第7号議案

令和元年度信用供与等の最高限度額の設定について

第8号議案

業務委託契約(利益相反取引)の承認について

第9号議案

平成30年度ディスクロージャー誌の決定について

第10号議案

令和元年度(平成31年度)個別監事報酬の配分について

第11号議案

監事監査規程の変更について

第12号議案

監事会規則の変更について

第13号議案

平成30年度決算監査回答書の受理について

第14号議案

JAバンク財務モニタリング結果に対する監事意見について

第5回監事会 開催日: 6月28日(金)

※「役員室より」はお休みです。

季節の野菜 アイディア料理講習会

■開催日・場所
8月1日(木)栗橋地区基幹集落センター
8月2日(金)西和賀統括センター
8月5日(月)本店農産加工室
8月6日(火)担い手活動センター
8月7日(水)北上地域調理研修施設 来夢(らいむ)

■時間 午前10時~
●お問い合わせ 企画部組織広報課 ☎0198-29-4011

地産地消料理コンクール 大募集!

■出品部門 次世代に食べさせたい 地産地消どんぶり

■申し込み方法 申し込み用紙にて(各支店または企画部組織広報課にお問い合わせください)

■期日 8月16日(金)
●お問い合わせ 企画部組織広報課 ☎0198-29-4011

野焼き・刈り草焼きからの火災に注意しましょう

夏に向かい気温が上がるこの時期は、水田の畦畔などの雑草も成長し、刈り払い作業が盛んになります。

火災の多くは、ちょっとした火の取り扱いの不注意から発生していますので、次のことを守りましょう。

1. 強風時や乾燥時には、刈り草焼きや火入れをしないこと。また、風が強くなってきたら火を消すこと。
2. 枯れ草などは一度にたくさん燃やすと火を消すのが難しくなります。少しずつ燃やすこと。
3. 枯れ草や木の枝葉など、燃えやすいものが周りがある場所では急に燃え広がる可能性があります。周囲をよく確認して燃やすこと。
4. 火入れやたき火などをする場合はその場を離れず、焼却後は完全に消火を確認すること。また、消火用具を準備すること。
5. 火災とまぎらわしい火入れなどをすると、あらかじめ最寄りの消防署に連絡してください。

●お問い合わせ
花巻市消防本部予防課 ☎0198-22-6123 (直通)
北上地区消防組合消防本部予防課 ☎0197-65-5173 (直通)
遠野市消防本部遠野消防署 予防係 ☎0198-62-2119 (代表)
釜石大槌地区行政事務組合消防本部 予防係 ☎0193-22-1642

総代選挙のお知らせ

総代の任期満了(令和元年8月20日)に伴い、総代選挙が次のとおり行われます。詳細については、7月30日付けで各農家組合長からお知らせいたします。なお、届け出のあった総代候補者の人数が各選挙区の定数となった場合は、投票は行いません。また、総代選挙にあたり当JAのホームページに総代選挙規程を記載しております。

<https://www.jahanamaki.or.jp/news/article.php?p=1596>

選挙期日 8月12日(月)

お問い合わせ 総務部総務課 ☎0198-23-3333

ぼらーの広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

今月のテーマ 地元の自慢スポット

投稿を頂いた方の中から抽選で、今月は

あぜみち 夏野菜詰め合わせをプレゼント!

花巻市石鳥谷町にある米斗利澤神社です。周りは木々に囲まれていて荘厳な気持ちになります。(花巻市・帰ってきたウルトラプレイヤー)

遠野の道の駅「風の丘」。花や野菜、食彩がよりどりあります。午前さまざまな品を選べるわくわく感がたまりません。(遠野市・知ったかぶり)

花巻市石鳥谷の権現堂山の下寺、上開田の丘に立つと花巻の市街地や山々を眺められ、花巻の自然が多く感じられます。(花巻市・子凡孫)

北上市二子町にある白鳥公園です。春はお花見で賑わい、普段はゲートボールの音が響き、憩いの場となっています。(北上市・ドリップコーヒー)

花巻駅の近くの壁画が夜になるとブラックライトで照らされます。壁面に銀河鉄道の夜の風景が浮かびあがり幻想的です。(花巻市・雪唄新奈)

花巻市大迫町にあるワインシャトー大迫。何種類ものワインが売っていて、試飲して自分の好きな味を買えるのがいいです!(花巻市・ざっしー)

来月のテーマ(9月号掲載)「私のこだわり」応募締切/8月9日(金)消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。あなたが人よりこだわってしまうことやそれに関するエピソードがありましたら教えてください。応募方法: ①テーマにちなんだお話し②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。右記のQRコードからのご応募もできます。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。
●はがき: 〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻組織広報課「ぼらーの広場」宛
●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5名様にプレゼント!
花巻ブルーベリー
八重咲きリンドウ 青孔雀



JAいわて花巻 応募フォーム

<https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php>

私が先生 あなたも先生

Point!

硬くて酸味のある
トマトを使うのがポイント。
「ミニトマトのシロップ漬け」は、
レモンの味が利いていて、
大人にも子どもにも
オススメです!



今月の先生

伊藤 淑子さん

北上市和賀町在住。得意料理は山菜を使った料理・だし巻き卵。料理のほか、みそ作りも得意とする。真味(まみ)一くっくの代表を務めるほか、女性部北上地域支部西部支部にも所属している。

トマトカツ ミニトマトのシロップ漬け

材 料 (各4人分)

【トマトカツ】

- トマト……………中2個
- 豚肉(しゃぶしゃぶ用) ……4枚
- 青しそ……………4枚
- スライスチーズ……………4枚
- 卵……………1個
- (A) 水……………大さじ1
- 小麦粉……………大さじ3
- 塩・こしょう……………適量
- 小麦粉……………適量
- パン粉……………適量
- 揚げ油……………適量
- キャベツ・ニンジン……………適量

【ミニトマトのシロップ漬け】

- ミニトマト……………20個
- 水……………300g
- グラニュー糖……………150g
- レモン汁……………30cc
- 粉ゼラチン……………5g

作り方

【トマトカツ】

- 1 トマトのヘタを取り、1個をそれぞれ横4枚に切る。
- 2 豚肉を広げ、トマト・青しそ・スライスチーズを1枚ずつ重ねて包み、塩・こしょうをふって小麦粉を薄くつける。混ぜた(A)、パン粉の順に衣をつけ、170度に熱した油で揚げる。
- 3 キャベツ・ニンジンを千切りにする。
- 4 ②を食べやすく切って、③を添える。

【ミニトマトのシロップ漬け】

- 1 ミニトマトのヘタを取り、熱湯に入れてすぐに冷水に取り出し、皮をむく。
- 2 水にグラニュー糖を入れ、火にかけて煮立てる。
- 3 ①を加え、レモン汁を加えて冷蔵庫で5時間ほど冷やす。
- 4 90度の湯にゼラチンを振り入れ、よくかき混ぜる。5時間後、固まったゼラチンを箸などで細かくし、器の下に少量入れてトマト5個を盛り、その上にゼラチンをスプーン1杯分かける。

あなたも先生になりませんか?

J Aでは、「生活福祉活動リーダー」を随時募集しております。あなたの知識や技術を地域の方々に伝えてみませんか?詳しくは、お問い合わせください。

●お問い合わせ 企画部組織広報課
☎0198-29-4011

「生活福祉活動リーダー」とは?

J Aでは、生活の知恵や伝承技術、芸術文化活動や健康増進に関わる活動の指導などを行っている方を「生活福祉活動リーダー」として委嘱しています。「生活福祉活動リーダー」には料理のほか、家庭菜園や体操、レクリエーション、生け花など幅広い知識・技術を持った約110人が登録。研修会や講習会などで講師を務めています。農家組合や青年部、女性部などの組合員組織が「生活福祉活動リーダー」を活用して研修などを行う場合、講師料はJ Aが負担し、皆さまの地域のくらしの活動をサポートします。

「国民的アニメ」サザエさん。先月の放送で、カツオがジャーナリストになるエピソードがあった。だが、取材の資金がなく悩むカツオ。それを見たノリスケは「経費がない時は、頭と脚を使うんだ」とアドバイスした。頭と脚。これは私たちにも通ずる言葉だろう。常に考え、行動に移す。広報活動の原点を見つめ直した瞬間だった。

「佐藤」

先日、テレビで102歳の現役スプリンターが取り上げられていました。97歳の時に陸上競技を始め、100歳で日本記録を樹立したそうです。人生100年時代に突入しました。年齢を言い訳にして諦めるのではなく、幾つになっても何か目標を立てて、挑戦するのは素晴らしい事ですね。

「木村」

最近、出掛け先で写真を撮影する際に以前よりも構図を考えて撮影するように意識しています。ですが、まだまだ自分の思い描く写真を撮ることができず、とてももどかしいです。これから取材先だけでなく普段からたくさん撮影して人に何かを伝えられるような写真を撮れるように頑張っていきたいです。

「安達」



編集後記

From Editor's